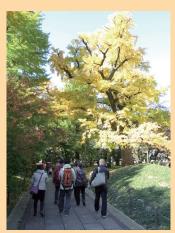
専門性提供事業

・まちの"力"見学ツアー



まち歩きの様子

NPO 連携事業 ①住まいまちづくり相談



専門性提供事業 今まで蓄積したまちづくりのノウハウを活かし、

主に玉川田園調布以外でまちづくりのお手伝いをしています

●まちづくりの活動現場見学ツアー

\

『まちの"力"』が開催されました

「世田谷まちづくりファンド」は1992年に設立され、これまでに約280ものグループがファンドからの助成金を得てまちづくり活動を展開してきました。世田谷はまちづくりの先進地区とも言われる所以です。玉川まちづくりハウスは、このファンドの設立に尽力していたメンバーが始めた活動で、その関わりは長く深いものがあります。

今年、世田谷まちづくりファンドは20周年を迎え、『ファンドがひらいた世田谷のまちづくり~20年とこれから』と題したイベントを行いました。その一環として、まちづくりの活動現場を見学するツアー『まちの"力"』が催されました。玉川まちづくりハウスが担当した玉川田園調布編では総勢15名でゆかりの地を巡りました。

住民参加で作られた公園として有名な「区立ねこじゃらし公園」、 世田谷区名刹のひとつ「九品仏淨眞寺」、九品仏から玉川田園調布まち歩き。世田谷区は「みどり33」と銘打って地域の緑化をすすめています。玉川まちづくりハウスの定例理事会を開催している「えんがわinn」でランチをとり、地域共生のいえ「読書空間みかも」について町田恵美子さんに説明をして頂きました。住民参加のワークショップを経て建設された「デイ・ホーム玉川田園調布」で「地域の福祉を考える会楽多の会」のサロン活動を見学し、都内でも有名なパワースポットである「奥澤神社」へ。最後は地域共生のいえ「読書空間みかも」へ。地域の人や思いが活動になり、緩やかにつながっていることを実感できたツアーとなりました。

NPO 連携事業

①世田谷区住まいまちづくり相談

\

「住まいまちづくり住宅相談ネットワーク」は世田谷区の相談事業「住宅まちづくり総合相談」を担当する3つのNPO法人で作っている団体です。住まいの困った!をまちづくりに関わる建築士としてアドバイスしていくことを目的にしています。

世田谷区5支所と三軒茶屋の6ヶ所で月2回ずつ開催され、玉川まちづくりハウスは、玉川地域と三軒茶屋の2ヶ所を担当しています。

隣地間のトラブル、工事の際の業者との話し合いの進め方、また予め知っておいた方がいいことはなにか?についての相談が多く見受けられます。

■ NPO 法人玉川まちづくりハウス■

運営委員長 伊藤雅春

運営委員 林泰義 平松陽一

監事 前田浩雄

事務局スタッフ 小西玲子(運営委員) 池田麻未 柴田希美絵

製作 2013年12月1日

NPO法人玉川まちづくりハウス 2013年度活動報告

〒158-0085 東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10 TEL:03-3721-8699 FAX:03-3721-8986 http://www.tamamati.com E-mail:tamamati@q06.itscom.net

2013 年度トピックス

地域の資産を地域の暮らしに活かす事業

- ・「自由が丘の家」継承
- ・「住宅遺産トラスト」設立

情報発信事業

・地域の魅力発見マガジン vol. 2 『今日は奥沢を歩こう。』発行

ネットワーク事業

・『九品仏アートフェスタ』実行委 員会発足

世田谷区地域の絆推進事業 助成金 242,500 円

2013 年度トピックス

地域の資産を地域の暮らしに活かす事業

■「自由が丘の家」継承、「住宅遺産トラスト」設立

展覧会「昭和の名作住宅に暮らす-次世代に引き継ぐためにできる こと -」が 1 ヶ月に渡り開催され、期間中は「旧倉田邸」、「自由が丘の家」 の見学会が行われ、来場者は500名を超え大盛況のまま閉幕しました。 また、「自由が丘の家」では桐島洋子さん、長女かれんさんによる サロントークも行われました。

そして、遂に2013年5月、「自由が丘の家」が新たな所有者の方へ 引き継がれました。新たな住まい手の方は吉村順三の建築を愛し、そ こで暮らした園田夫妻へ深い理解を示され、設計当時からの家具、園 田氏のピアノ、写真類などのしつらえもそのままに住宅としてしよう されながら、これまで通り音楽や建築を楽しむサロンとしてご自宅を 開いてくださることとなりました。

展覧会を通して他にも多くの貴重な住宅が切実な事情にあることを 知り、実行委員会は『一般社団法人 住宅遺産トラスト』を設立しま した。(関連記事 7p)

情報発信事業

■地域の魅力発見マガジン vol.2 『今日は奥沢を歩こう。』を発行しました!

昨年度、世田谷区市民活動推進課の事業「地域の絆推進事業」で「地 域の魅力発見マガジン」と題し、『今日は九品仏を歩こう。』という冊 子を発行しました。今年度は奥沢にスポットをあて、『今日は奥沢を 歩こう。』という冊子を発行しました。

世田谷区の中で奥沢周辺は人が集まれる、いわゆる地区会館や社会 福祉協議会のふれあいの家等の公共の施設が少ないのですが、そのこ とがかえって住んでいる人たち自らが自宅を開いて小さな集まりを開

催し、ご近所のネットワークをつむいでいるこ とが取材を通して見えてきました。

取材をする中で今まで接点がなかった方との 出会いや長年地域に住まれている方のお話な ど、地域の魅力を再発見する機会となりました。

来年度は玉川田園調布にスポットをあて、第 3 弾を発行予定です。(関連記事 7p)



ネットワーク事業

■『九品仏アートフェスタ』実行委員会が発足しました

九品仏淨眞寺参道で毎年行われている九品仏自治会主催のフリー

マーケットに、多くの人がアートに親しく出逢うよ うな「にぎわい」が作り出せたら、と『九品仏アー トフェスタ』実行委員会を発足しました。地域でアー ト活動をする人々が集まり、作品の展示や販売を行 う予定です。(関連記事 5p)



地域協働事業

お手伝い事業

①玉川田園調布住環境協議会

- ②楽多の会
- ③クラシック音楽を楽しむ会
- 4安全・安心まちづくり
- ⑤ねこじゃらし公園

ネットワーク事業

- ①子育て支援活動
- ②社会資源発掘
- ③地域講座
- ④九品仏アートフェスタ準備会
- ⑤玉まちフェスタ

企画・調査事業

- ①園田高弘邸 音楽と建築の響 き合う集い
- ②「自由が丘の家」継承、住宅遺産トラスト設立

情報発信事業

- ①ハウスニュース
- ②冊子
- ③ホームページ

地域協働事業一世田谷区玉川地域を対象に活動しています

お手伝い事業

それぞれの活動が発足するときの支援活動を行いました。その活動を担う人材が 別に現れて活動資金も別に調達し独立していくことが、ハウスの活動の特徴です。 今は事務局作業の一部を支援しています。

- ①玉川田園調布住環境協議会・・・事務局担当
- ●まちづくり協定改定について

この2年、地域のみどりを守ることについて玉川田園調布1、2 丁目地区まちづくり協定の改定をめざし、話し合いを続けています。

玉川田園調布1、2丁目まちづくり協定では、敷地面積から建物の建築面積を差し引いた残りの空地面積の25%を緑化することになっています。2014年4月からは、世田谷区の緑化基準の充実、緑化の法的義務づけなどにより150㎡(約45坪)以上の敷地に置いて、私たちのまちづくり協定よりも厳しい基準が設定されます。更なる協定の検討が必要と考えています。

●地区内の動向について

消費税率を上げることになっているせいばかりではないでしょうが、地区内での建築が盛んです。それに伴い風致地区内における隣地からの離れの距離の問題、また高低差のある敷地に於いての駐車場の作り方と道路に対する緑化の兼ね合い等について一軒一軒課題が見つかります。引き続き検討していきたいと考えています。

●「みどりと花の Casebook」について

昨年作成した冊子は好評を頂いています。今年は、(一財)世田谷トラストまちづくりの「3軒からはじまるガーデニング支援制度」に近隣の方とともに応募。3軒で協力して、同じ木々を植えたり、作業を協働したりして、点ではない、まちに広がる面のみどり創設に取り組みました。

②地域の福祉を考える楽多の会・・・事務局担当

今年度から、楽多の会では認知症への取り組みの一環として、毎 月第1土曜日に「認知症勉強会」を開催しています。

実際に介護を経験した方を中心に、認知症について理解を深めようと交流会を行っています。介護経験者の交流を通して、認知症患者への対応や情報などを共有していければと思っています。

「楽多の集い」では今年も古今亭文菊さんをお迎えして落語会を 行いました。

サロン活動は毎週水曜日デイホーム玉川田園調布の1階は30名以上も集まって、笑顔が絶えません。あんしんすこやかセンターや、デイホーム職員とも交流できるデイホーム玉川田園調布1階の地域交流スペースでこの活動が継続できることを大切にしていきたいと考えています。課題はやはりスタッフの充実です。



毎回大好評の麻雀大会の様子

調査事業

地域の資産を地域の暮らしに活かす事業 CAM (コミュニティ・アセット・マネジメント)

●園田高弘邸 音楽と建築の響き合う集い

第13回 2012年12月23日

ピアノ:田山正之/お話:富田玲子、藤原智子

第14回 2013年2月24日

バリトン:近野賢一、ピアノ:小熊由里子

第15回 2013年5月26日

ピアノ:高橋礼恵、ヴァイオリン:森下幸路、ヴィオラ:大山平一郎、チェロ: 辻本玲2012年9月21日(金)から1カ月間、ガレリア・アビターレにて『昭和の名作住宅に暮らす―次世代に引き継ぐためにできること:吉村順三、吉田五十八、前川國男による三つの住宅』展が開催されました。来場者は500名を超え、大盛況で閉幕しました。

また、関連企画として期間中に「旧倉田邸」、「自由が丘の家」、の見学会を開催。こちらも展覧会前に定員となり、急遽日程を増やしましたがそれも瞬く間に定員。日本各地から約300名の来場がありました。9月30日(日)には「自由が丘の家」で桐島洋子さんと長女かれんさんによるサロントーク『ホーム・スイート・ホーム:聡明な暮らし方』も開かれました。



2013年5月、会が発足して4年の月日を経て、「自由が丘の家」が園田春子夫人から新しい所有者の方へ継承されました。

実行委員会はこれまでの活動や展覧会を通して、他にも多くの 貴重な住宅が切実な事情にあることを知り、こうした価値ある住 宅建築とその環境を「住宅遺産」と呼び、「住宅遺産」を社会的に 継承するために 2013 年『一般社団法人 住宅遺産トラスト』を設 立しました。保存活動に関わる個人や団体、建築、法律、税務、 まちづくりの専門家、地域社会など他分野の方と連携し、継承の 危機に直面している住宅をきちんと後世に繋ぐ組織を志していま す。







情報発信事業

①ハウスニュース

毎月月末に会員向けニュースを発行しています。ニュースでは ハウスの活動を随時紹介しています。

②冊子

今年度も世田谷区市民活動課の「地域の絆推進事業」の助成金を獲得し、『今日は奥沢を歩こう。』という小冊子を発行しました(関連記事1p)。

次年度も第3弾として玉川田園調布編を準備しています。

③ホームページ

ブログとツイッターで地域講座の日程などすぐにお知らせしたい情報を、リアルタイムでお伝えしています。イベントの詳細など随時掲載しています。ぜひ遊びにきてください。

玉川まちづくりハウスのホームページ

http://www.tamamati.com



⑤玉まちフェスタ

●フェスタ売上げから今年も震災復興へ寄付

5月 19日 (日)、心配し続けたお天気もなんとかもって、通算 10 回目の玉川まちフェスタが開催されました。

活動資金獲得のため、デイ・ホーム玉川田園調布をお借りしてバザーを始めてから10年。2010年からは単なるバザーではなく、もっと地域の人たちに活動を知ってもらいたい、地域の人たちと一緒に何かやりたいと「玉川まちフェスタ」と銘打って「まちのイベント」にするべくフリーマーケットブースを設置するなど新たな試みを続けてきました。毎回当日のお手伝いのみならず、バザー品の値付け、宣伝等本当に多くの方に手伝っていただいています。私たちだけではとてもできない「フェスタ」です。この場を借りて心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

昨年に引き続き、売上げの一部を東日本大震災で被災した子どもたちのために活動している世田谷区のNP0法人「日本冒険遊び場づくり協会」に寄付しました。(http://www.ipa-japan.org/asobiba/modules/news/)。

●カリグラフィー展示と空き家ワークショップ

もう一つの会場アビターレでは、「地域講座カリグラフィー」の作品展示、そして今地域で取り組むべき課題として「空き家と空き室問題」に関するワークショップ『しゃべり場』を開催しました。NPOハートウォーミングハウス代表の園原一代さんをお招きし、ホームシェア事業の体験談他、伊藤美希子さんにシドニーの高齢者向けガーデニングサービスの活動について紹介してもらいました。

ディスカッションでは空き家等を活用する趣旨に 賛同する意見や、興味を持つ方の意見が多くあげら れましたが、いざ自宅を開放するとなるとまだ抵抗があるという雰囲気も見受けられました。

●えんがわ inn のミニコンサート

そして、3 時すぎから、東儀秀樹さんのミニコンサート。新緑の気持ちのよい空間の中で、80 人のお客さまと素晴らしい演奏を聴け、とても幸せでした。

東儀さんにご厚意できていただくのも今回で4回目。「本当にすばらしかった!」「いい時間をありがとう!」という声をいただくごとにスタッフ側も感謝の気持ちで一杯です。

今年は準備の最後が詰め切れず、広報が足りなかったと反省しています。天気予報にも左右され、残念ながらデイ・ホームお向かいのファミリーマートとの協働が叶わず、子どもを対象とした宣伝が足りなかった等、反省は多々ありますが、また来年頑張りたいと思います。感謝を込めて、みなさま本当にありがとうございました!









2013.5.19 玉川まちフェスタ売り上げ集計表

		de 3				
		収入	支出			
	バザー会場売上げ	¥398,018			6月1日	までの売上げ含む
	冊子売上げ	¥3,470				
日本冒険	コンサート会場	¥73,000			半額を	雲災復興寄付
遊び場づ	フリマ出店料	¥10,000			全額を	雲災復興寄付
くり協会	その他寄付金	¥2,624			全額を	雲災復興寄付
経費等	コンサート準備		¥7,489			
	チラシ等		¥3,054			
	文具 、資材		¥2,375			
	その他謝礼金		¥5,315			
	当日損害保険		¥2,500			
	レンタカー代金		¥15,000			
,	A 収入合計	¥487,112				
	B 支出合計		¥35,733		寄付額	36500+10000+2624
	A-B			451379		¥49,124
	寄付後収入					¥402,255

③クラシック音楽を楽しむ会・・・ハウスとの情報交換

●「植村邸」から「シェア奥沢」へ

毎月第4土曜日に植村邸で行われていた「クラシック音楽を楽しむ会」が、新たに「クラシック音楽を楽しむ会 in 奥沢」として『シェア奥沢』へと会場を移しました。

『シェア奥沢』は『NPO 法人土とみどりを守る会』の堀内さん自宅の一部を開いて様々なかたちで利用できるスペースをコワーキングスペースとして、イベント会場として、シェアキッチンとして、様々な交流から新しい交流、価値を生み出そうという試みです。

一般の方も利用することができます。詳細は HP をごらんください。



Share Okusawa

シェア奥沢: http://share-okusawa.jp

④安全・安心まちづくり(防犯パトロール)

●「『わたしたちのまち』の『これからを創る!』」 シンポジウムが行われました

玉川田園調布では防犯パトロール隊による地域のユニークな見守りが継続しています。

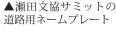
また、毎月発行されるニュースも地域の人たちを結びつけるための大きな役割を果たしています。

今年度の取り組みとして、2013年1月27日(日)、八幡小学校ランチルームで日本市民安全学会の特別イベントと協働して「『わたしたちのまち』の『これからを創る!』」というシンポジウムを開催しました。

パネラーは「安全安心なまちをつくる」とはいったい何から取り組めばいいのかのヒントになる事例報告を聞き、まちはそれぞれ成り立ちも課題も違いますが、互いの顔が見える関係を育てていくことが大切で、何かをはじめると必ず何か生まれてくるのだということが確認できました。







▲目印のない住宅街の通りと坂道 に愛称をつけ、プレートを取り付 ける活動をした櫻田さん

⑤ねこじゃらし公園・・・活動参加

ねこじゃらし公園バースデイ・イベントを開催しました。 今年でねこじゃらし公園も19さい!普段ねこじゃらし公園の管理をしている「グループねこじゃらし」のメンバーが毎年ゲームや工作を企画から行い、ねこじゃらし公園の誕生日をお祝いしています。毎年大人気の「デッカイお絵かき」、「紙芝居」、「仲間をサガセ!」など青空の下で子どもたちがめいっぱい走り回る姿で公園も大賑わいでした。

来年は20周年ということで盛大なお祝いを計画中。「グループねこじゃらし」では常時メンバーを募集中です!

また、毎月公園の掃除や花の植え替え、定例会も引き続き行っています。季節の変化を感じられる「グループねこじゃらし」に参加してみませんか!





ネットワーク事業

他の団体とネットワークすることで広がりを持ったり、こちらが企画して人と人との 結びつきを深めようという事業です

助成金 286,000 円

①子育て支援活動

●プレーリヤカー、リピーターのママが増えています

おもちゃを積んだリヤカーを公園に持っていって、子どもの外遊びを推進するという「世田谷区自然体験遊び場づくり事業」を毎月第3・第5水曜日に行っています。今年度も引き続き等々力保育園と協働して園の敷地内にプレーカーを置かせていただき、保育園の地域交流の企画と連動し、保育園のお向かいの「ねこじゃらし公園」で活動を行いました。

8月から新たに椎川さんにお手伝いいただくことになりました。



②社会資源発掘事業『宮本三郎記念美術館と地域の会』

●「人ひろば」では多彩なゲストをお招きしています

宮本三郎記念美術館を応援している「宮本三郎記念美術館と地域の会」との懇談のなかから生まれた講演会「人ひろば」。今年度は第18回~第21回が行われました。

「人ひろば」は奥沢〜玉川田園調布〜自由が丘の地域 にゆかりのある人物を講師にお招きして多彩なテーマで お届けする講演会となっています。





写真提供: 宮本三郎記念美術館

2012年10月~2013年9月までの「人ひろば」

10月28日(日)第18回「絵画教室『星の子』の39年」

講演者:鈴木誠子

12月16日(日)第19回「なぜ日本では『青い鳥』が好まれるのか?」

講演者: 末松氷海子

2月17日(日)第20回「地球変動帯の中にある日本列島~プレートテクトニクスから考える」

講演者:河野長

6月15日(土)第21回「鞄に入れた本の話-私の美術館散策」

講演者:世田谷美術館館長・酒井忠康

2013年度年間スケジュール

²⁰¹² 10	11	12	²⁰¹³]	2	3
地域講座 カリグラフィー 10/1,10/22 プレーカー 10/17,10/31 園田開学会 10/13 旧倉田開学会 10/20 住宅遺田関会 ~10/21	地域講座 カリグラフィー 11/5.11/12 プレーカー 11/21 旧倉田印見学会 11/18 「まちの"ガ"」 見学ソアー 11/21	世域講座 12/3 カリグラフィー 12/19 プレーカー 12/19 世田谷まちづくりファンド 20周年記念イベント 12/1,12/2 東田に音楽会 12/23 ★ハウス総会 12/16	地域講座 1/14,1/28 カリグラフィー プレーカー 1/16,1/30 これからを創る!」 ワークショップ 1/27	(地域講座 2/4,2/11	地域講座 カリグラフィー 3/4,3/11 プレーカー 3/13 『今日は奥沢を歩 こう。』完成

③地域講座

●カリグラフィー講座(毎月第一・第二月曜日 講師:根岸香津代先生)

西洋書道と呼ばれるカリグラフィー講座を月に2 度開講しています。10名を超える生徒さんとえん がわ inn の素敵な空間でレッスンを行っています。

国際書道連盟展に出展、入賞など根岸先生、生徒さんの活躍も今後に期待です。

2013年5月には「玉川まちフェスタ」にて作品 展を行いました。たくさんの方に作品を見ていただ き、興味を持ってくださる方も多く、素敵な作品展 となりました。

11月の「九品仏アートフェスタ」でも同日開催として宮本三郎記念美術館でワークショップを行う予定です。









今年制作した作品の数々

④九品仏アートフェスタ

●『九品仏アートフェスタ』準備会が発足しました



九品仏を中心にアートと人が親 しく出会う——そんな場が出来 たら素敵ではないかと考えた有志 が立ち上げた「九品仏アートフェス

タ実行委員会」が準備を始めました。

地域に住む人たちの「表現」、「アート」、「てしごと」の新たな交流の場になれば、ゆくゆくは地域を挙げての「フェスタ」になれば、と願っています。しかしどうなることか皆目検討がつかないので当面は九品仏浄真寺参道で3回の開催の実績がある「フリーマーケット九品仏」と同日同時間帯に開催することになりました。また、当面の資金は世田谷区の地域の絆推進事業に応募して受理されました。

アートによる地域振興、コミュニティの再生は、

九品仏を中心にアートと人が親 各地でさまざまな取り組みがなされていますが、 しく出会う——そんな場が出来 九品仏地域らしいアートフェスタを目指します。



▲九品仏アートフェスタの 告知チラシ

*そのほか運営委員会、ニュースレターの発行、世田谷区の住宅相談などを毎月行っています。

4	5	6	7	8	9
地域講座 カリグラフィー 4/1,4/29 プレーカー 4/17 ねこじゃらレム園 バースデー 4/14	★玉まち フェスタ 5/19 地域講座 カリグラフィー 5/6,5/13 プレーカー 5/15,5/29 園田に音楽会 園田に解析 5/26	地域講座 カリグラフィー 6/3,6/10 プレーカー 6/19	地域講座 カリグラフィー 7/1,7/15 プレーカー [7/17,7/31]	地域講座 カリグラフィー 8/5	世域講座 9/2,9/9 カリグラフィー プレーカー 9/19 九品仏アート フェスタ準備会 9/23